

# 決算報告

貸借対照表  
令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,239,917	1,041,537	198,380
仮払金			0
流動資産合計	1,239,917	1,041,537	198,380
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産積立資金	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) 特定資産			
公益目的事業引当資産	193,282	5,383,475	△ 5,190,193
特定資産合計	193,282	5,383,475	△ 5,190,193
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	50,193,282	55,383,475	△ 5,190,193
資産合計	51,433,199	56,425,012	△ 4,991,813
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払金	209,900	16,620	193,280
預り金	8,700	3,600	5,100
2. 固定負債			
流動負債合計	288,600	90,220	198,380
負債合計	288,600	90,220	198,380
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	50,193,282	55,383,475	△ 5,190,193
指定正味財産合計	50,193,282	55,383,475	△ 5,190,193
(うち基本財産への充当額)	( 50,000,000 )	( 50,000,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 193,282 )	( 5,383,475 )	( △ 5,190,193 )
2. 一般正味財産	951,317	951,317	0
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	51,144,599	56,334,792	△ 5,190,193
負債及び正味財産合計	51,433,199	56,425,012	△ 4,991,813

# 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	8,190,193	7,633,981	556,212
受取寄付金振替額	8,190,193	7,633,981	556,212
雑収益	79,799	50,553	29,246
受取利息	29,799	553	29,246
雑収益	50,000	50,000	0
経常収益計	8,269,992	7,684,534	585,458
(2) 経常費用			
事業費	5,590,366	5,590,371	△ 5
支払助成金	3,288,626	3,681,816	△ 393,190
旅費交通費	268,180	253,780	14,400
諸謝金	467,759	250,016	217,743
食糧費	924,450	648,430	276,020
委託費	300,000	500,000	△ 200,000
表彰費	19,541	15,330	4,211
消耗品費	75,144	0	75,144
雑費	11,530	1,750	9,780
印刷費	235,136	200,079	35,057
保険料	0	39,170	△ 39,170
管理費	2,609,626	2,024,163	585,463
役員報酬	33,411	44,548	△ 11,137
給料手当	1,850,000	1,200,000	650,000
旅費交通費	160,230	177,090	△ 16,860
委託費	207,210	177,060	30,150
租税公課	1,200	4,800	△ 3,600
食糧費	113,000	182,200	△ 69,200
支払手数料	190,025	143,660	46,365
通信費	37,970	31,500	6,470
雑費	0	13,200	△ 13,200
消耗品費	8,580	50,105	△ 41,525
諸会費	8,000	0	8,000
経常費用計	8,199,992	7,614,534	585,458
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	70,000	70,000	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	70,000	70,000	0
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	951,317	951,317	0

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産期末残高	951,317	951,317	0
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
受取寄付金	3,000,000	7,000,000	△ 4,000,000
受取寄付金	3,000,000	7,000,000	△ 4,000,000
一般正味財産への振替額	△ 8,190,193	△ 7,633,981	△ 556,212
当期指定正味財産増減額	△ 5,190,193	△ 633,981	△ 4,556,212
指定正味財産期首残高	55,383,475	56,017,456	△ 633,981
指定正味財産期末残高	50,193,282	55,383,475	△ 5,190,193
III 正味財産期末残高	51,144,599	56,334,792	△ 5,190,193

**財産目録**  
令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金預金	普通預金 北海道銀行鳥居前支店	運転資金として	1,239,917
流動資産合計				1,239,917
(固定資産)				
	基本財産	基本財産積立資金 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	基本財産として	50,000,000
	特定資産	公益目的事業引当資産 普通預金 北海道銀行鳥居前支店	寄付により受け入れた預金であり、公益目的事業に使用している	193,282
固定資産合計				50,193,282
資産合計				51,433,199
(流動負債)				
	未払法人税等	市民税、道民税	法人市民税及び法人道民税の均等割額	70,000
	未払金	交通費	公益目的事業に係る経費の未払金	209,900
	預り金	源泉所得税	公益目的事業の報酬に係る源泉所得税の預り金	8,700
流動負債合計				288,600
負債合計				288,600
正味財産				51,144,599

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 消費税等の会計処理  
税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
公益目的事業引当資産	5,383,475		5,190,193	193,282
小 計	5,383,475	0	5,190,193	193,282
合 計	55,383,475	0	5,190,193	50,193,282

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産積立資金	50,000,000	( 50,000,000 )	( 0 )	--
小 計	50,000,000	( 50,000,000 )	( 0 )	--
特定資産				
公益目的事業引当資産	193,282	( 193,282 )	( 0 )	--
小 計	193,282	( 193,282 )	( 0 )	--
合 計	50,193,282	( 50,193,282 )	( 0 )	--

### 4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
目的達成による振替額	8,190,193
合 計	8,190,193

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、記載を省略する。

### 2. 引当金の明細

該当なし。

## (单位:円)

[illegible]

## 監査報告書

令和7年4月 // 日

公益財団法人明日佳  
理事長 小野寺 眞 悟 様

公益財団法人明日佳

監事 水 野 克 也 印

私は監事として、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果につきまして、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事として、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席して、ことあるごとに、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 一 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。